

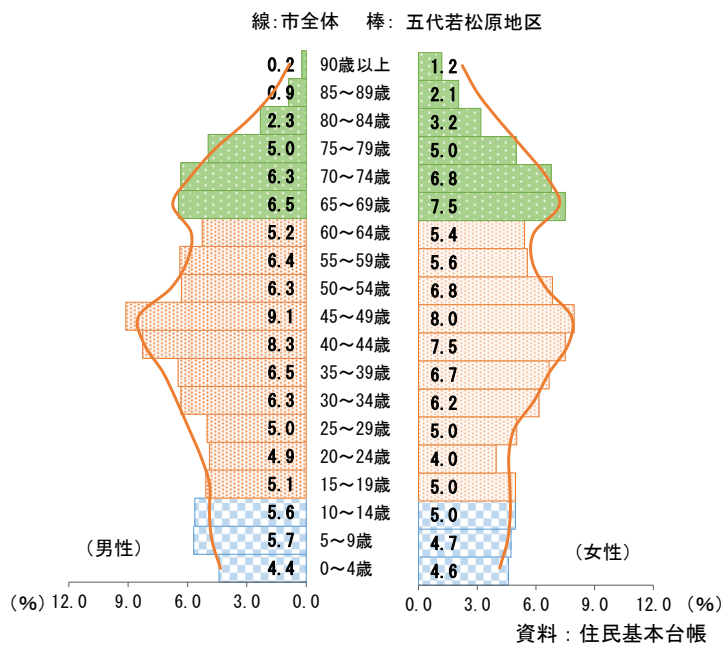
8 五代若松原地区

(1) 地域資源・生活環境の状況

ア 地域資源・生活環境の状況

- ・ 総人口：6,919人（男性3,410人，女性3,509人）
 - ・ 世帯数：2,853世帯（1世帯当たり2.43人）
 - ・ 国民健康保険及び後期高齢者医療の被保険者数：2,101人
 - ・ 高齢化率：23.5%（市全体24.5%）
 - ・ 要介護認定率：13.4%（市全体15.6%）
- 資料：住民基本台帳人口（H30.9.30）等

図Ⅱ-1-1 性別・5歳階級別人口（H30.9.30）



図Ⅱ-1-2 年齢3区分別構成比（H30.9.30）

	地区	市全体
15歳未満	15.0%	13.6%
15～64歳	61.6%	61.9%
65歳以上	23.5%	24.5%

資料：住民基本台帳

図Ⅱ-1-3 人口指数（H30.9.30）

	地区	市全体
従属人口指数	62.5	61.6
老年人口指数	38.1	40.1
年少人口指数	24.3	21.5
老年化指数	156.5	186.4

資料：住民基本台帳

図Ⅱ-1-4 産業別就業人口構成比（H27）

	地区	市全体
第1次産業	1.0%	2.6%
第2次産業	26.3%	26.8%
第3次産業	72.8%	70.6%

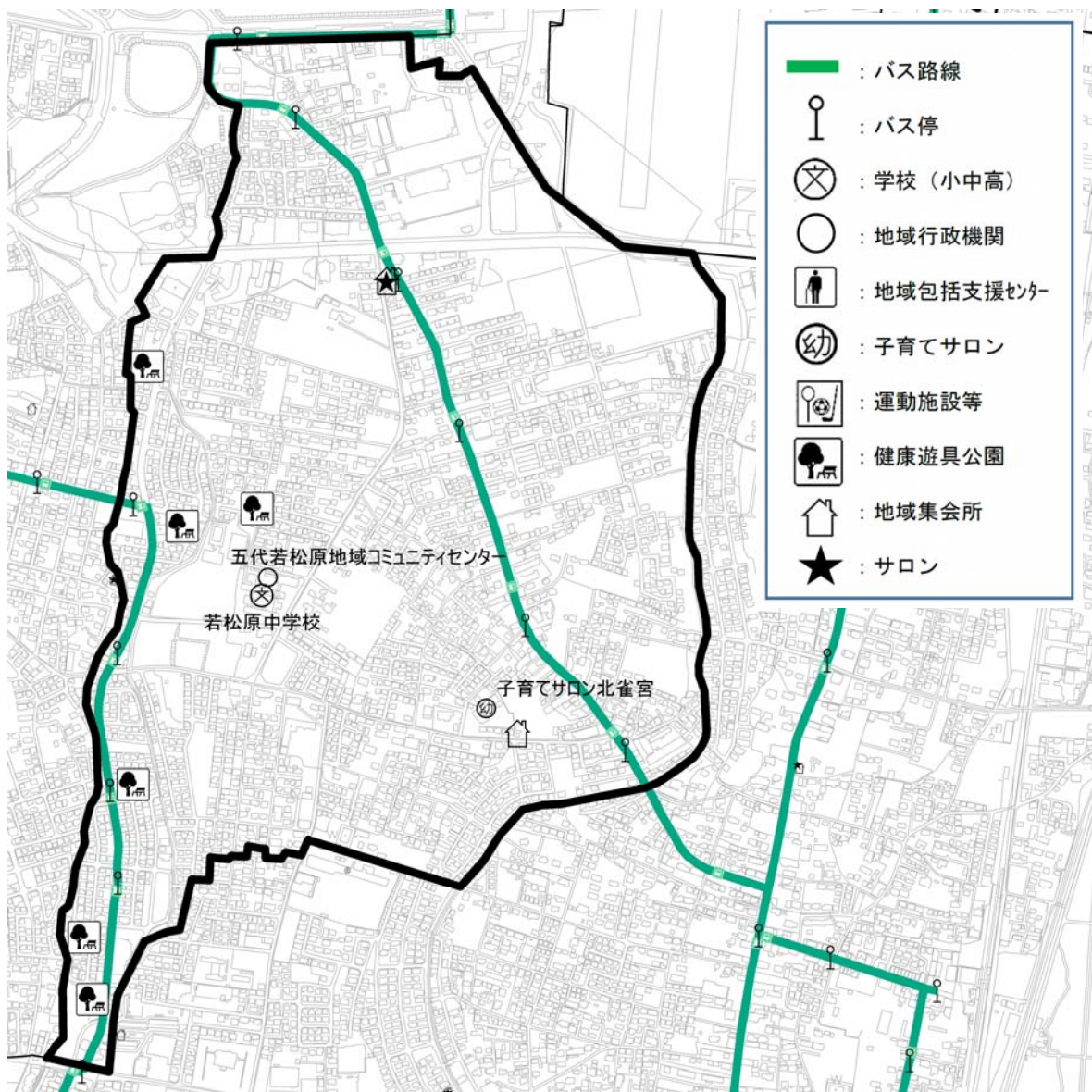
資料：平成27年国勢調査

イ 地域組織・活動の状況

自治会	自治会数	7自治会
	加入世帯数	1,893世帯
安全・安心に係る取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通安全運動にリンクした立哨活動 ・ 登下校時の安全指導及び、定期的な管内巡回 ・ 地区自主防災会等を中心とした防災訓練の実施 	
スポーツ行事	5月：ソフトボール大会 6月：バレーボール大会 9月：ふれあい体育祭 2月：連合会新春マラソン大会	
地区イベント	8月：五若の日記念事業，五代夏祭り 10月：ふれあいキャンプ 11月：徘徊模擬訓練，五若文化祭，五若ふれあいのつどいイルミネーション点灯式 3月：防災訓練	

資料：令和元年度宇都宮市みんなでまちづくり課地域支援データ

ウ 地域資源マップ



地域資源			
バス路線（本数）	60 本	運動施設等	0 施設
バス停	9 箇所	健康遊具公園	6 箇所
駅	0 駅	地域集会所	2 箇所
学校（小中高）	1 校	ふれあい・いきいきサロン	1 箇所
地域行政機関等	1 施設	スーパー・ドラッグストア	4 店舗
地域包括支援センター	0 施設	病院・診療所	5 施設
子育てサロン	1 施設	歯科診療所	5 施設

【地域の質的狀況】

- ・ 五代若松原地区は、地形はほぼ平坦な台地で、宅地が主の「住宅街」である。平成6年度に雀宮地区から独立し、平成15年度にみどり野町自治会、平成22年度に五代2丁目自治会が加入し、7つの自治会から構成されている。
- ・ 地区内・隣接地区には、保育・教育機関、医療機関、スーパーやドラッグストア等が複数存在し、生活の利便性は高い。

資料：宇都宮市都市計画課・公園管理課・交通政策課統計データ(平成30年度)等

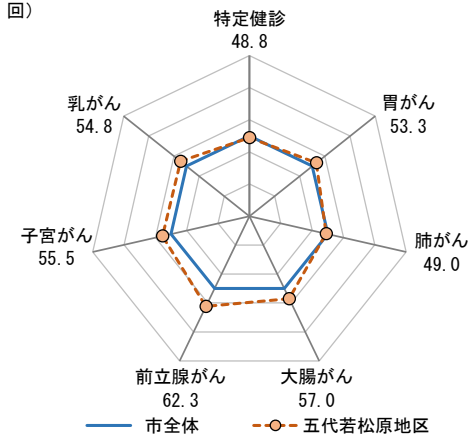
(2) 健診・医療・介護 (KDB 等)

ア 健診の状況 (※市全体の割合を50とし、上限を90、下限を10とした場合の値。*90、*10は上限・下限を超える値)

(※①・③・④は市全体の割合を50とし、上限を90、下限を10とした場合の値。*90、*10は上限・下限を超える値)

① 特定健診等受診率 (大きいほど良い)

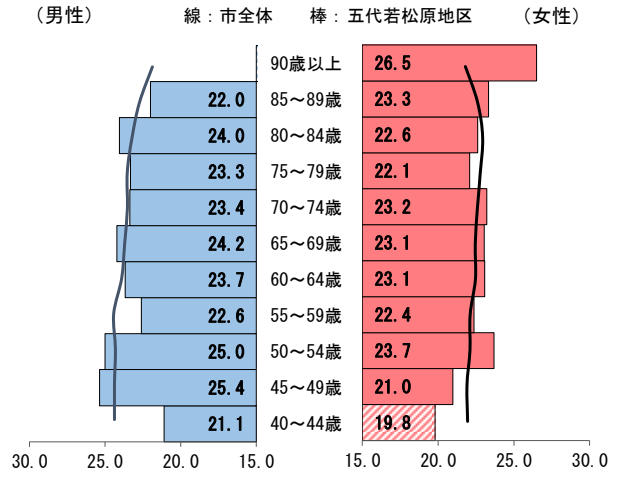
(対象) 特定健診：国民健康保険被保険者
胃・肺・大腸がん：40歳以上
前立腺がん：50歳以上 (男性のみ)
子宮がん：20歳以上 (女性のみ)
乳がん：30歳以上 (女性のみ) (40歳以上は2年に1回)



資料：平成29年度KDB等データ

② BMI (年齢層別平均値)

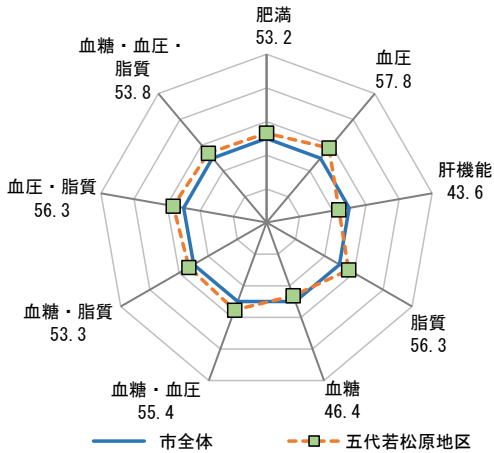
(対象) 国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者



資料：平成29年度KDBデータ

③ 生活習慣病リスク保有率 (小さいほど良い)

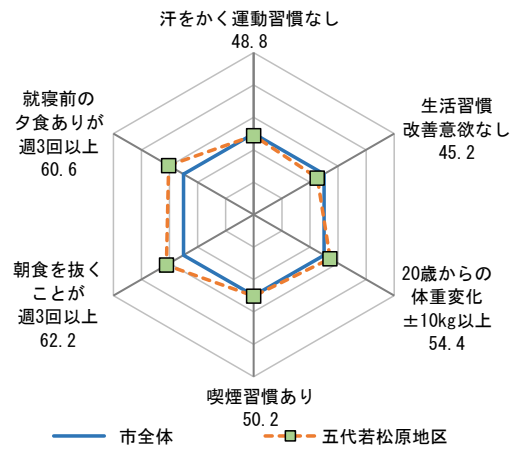
(対象) 国民健康保険被保険者



資料：平成29年度KDBデータ

④ 行動特性 (小さいほど良い)

(対象) 国民健康保険被保険者

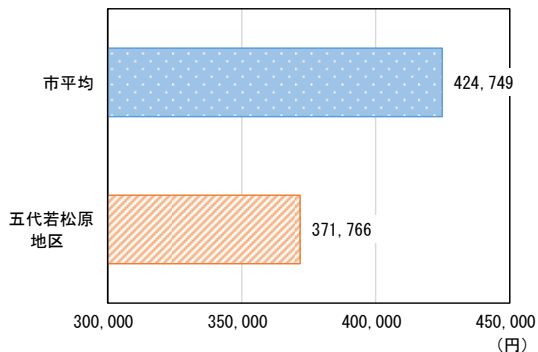


資料：平成29年度KDBデータ

イ 医療の状況

① 1人当たり年間医療費等

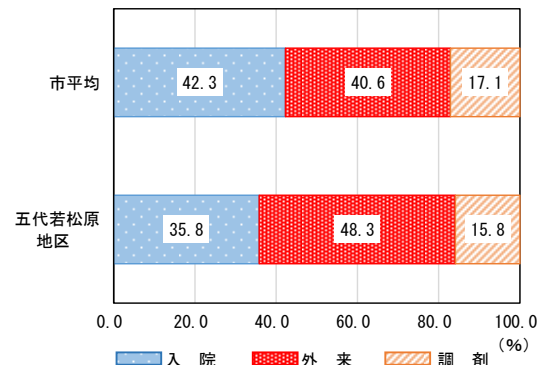
(対象) 国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者



資料：平成29年度KDBデータ

② 入院・外来・調剤別医療費の割合

(対象) 国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者



資料：平成29年度KDBデータ

③ 医療費の内訳（構成比）

	地区	市全体
糖尿病	4.52%（＝）	4.21%
高血圧症	3.81%（↓）	4.34%
脂質異常症	4.04%（＝）	3.65%
高尿酸血症	0.09%（＝）	0.09%
脂肪肝	0.23%（＝）	0.38%
動脈硬化症	0.21%（＝）	0.33%
脳出血	0.12%（＝）	0.40%
脳梗塞	1.63%（＝）	1.71%

市全体との差が±0.5%以内：（＝），市全体との差が0.5%より高い（↑），低い（↓）

（対象）国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者

	地区	市全体
狭心症	6.83%（↑）	3.64%
心筋梗塞	0.07%（↓）	1.02%
がん	9.12%（＝）	8.80%
筋・骨格	11.95%（↑）	10.49%
精神	2.28%（＝）	2.17%
慢性閉塞性肺疾患(COPD)	0.18%（＝）	0.25%
慢性腎不全	12.24%（↑）	8.26%

資料：平成29年度KDBデータ

ウ 介護の状況

① 基本情報

（対象）65歳以上

	地区	(市全体)
1号被保険者数	2,757人	
認定者数	426人	15.6%
認定率	15.5%	15.6%

【内訳】

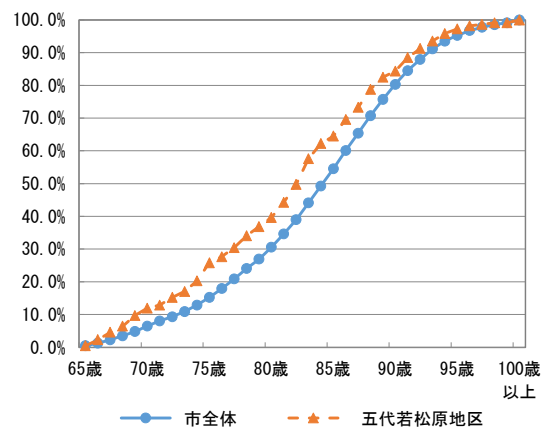
要支援	人数		構成比	
	要支援1	要支援2		
要介護	要支援1	47人	35.0%（↑）	30.9%
	要支援2	29人		
	要介護1	32人	31.3%（↓）	34.1%
	要介護2	36人		
	要介護3	24人		
	要介護4	29人	33.6%（↓）	35.0%
	要介護5	20人		

市全体との差が±1.0%以内：（＝），市全体との差が1.0%より高い（↑），低い（↓）

資料：平成29年度宇都宮市高齢福祉課

② 年齢分布（累計）

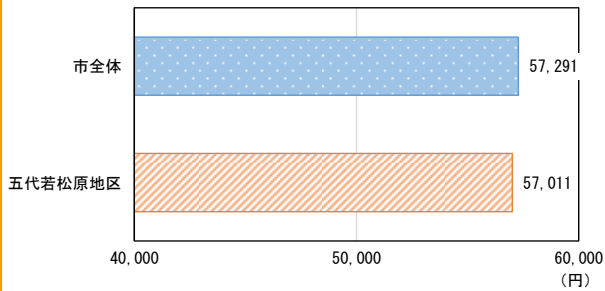
（対象）65歳以上



資料：平成29年度宇都宮市高齢福祉課

③ 1件当たり介護給付月額

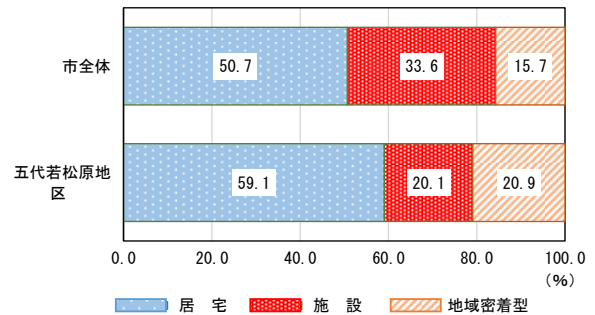
（対象）国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者



資料：平成29年度KDBデータ

④ サービス別介護給付額の割合

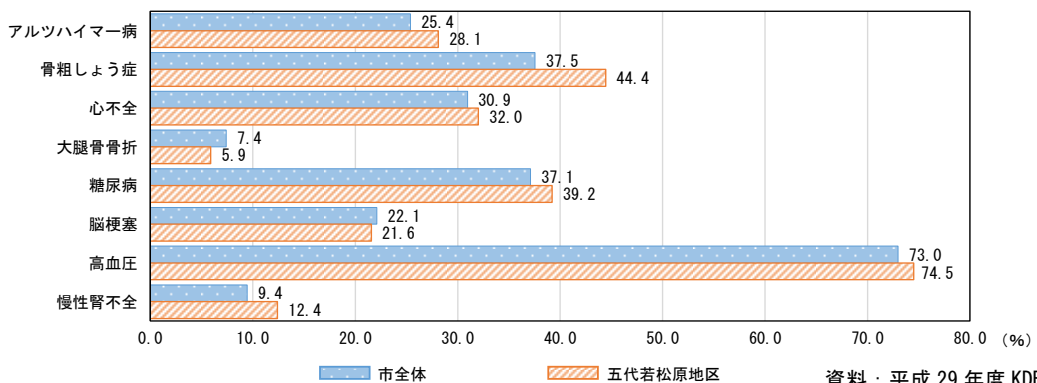
（対象）国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者



資料：平成29年度KDBデータ

⑤ 認定者の有病率

（対象）国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者

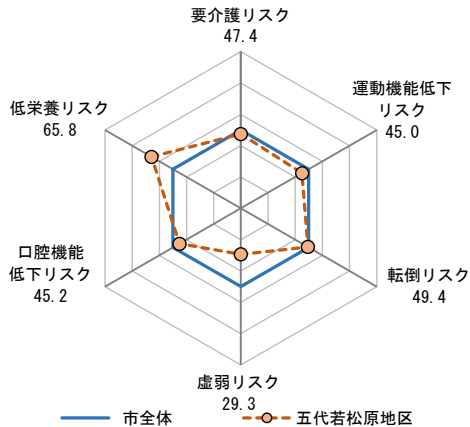


資料：平成29年度KDBデータ

(3) 生活習慣・社会参加

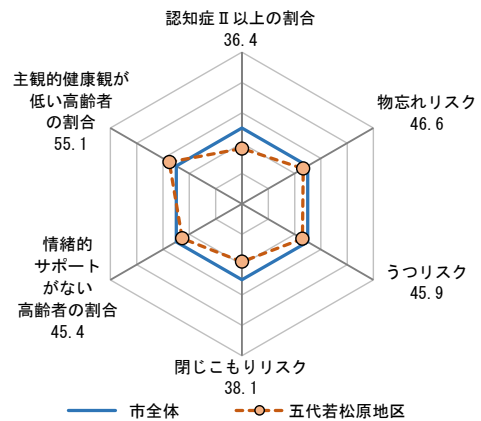
(※市全体の割合を50とし、上限を90、下限を10とした場合の値、*90、*10は上限・下限を超える値)

① 要支援・要介護リスク (小さいほど良い)



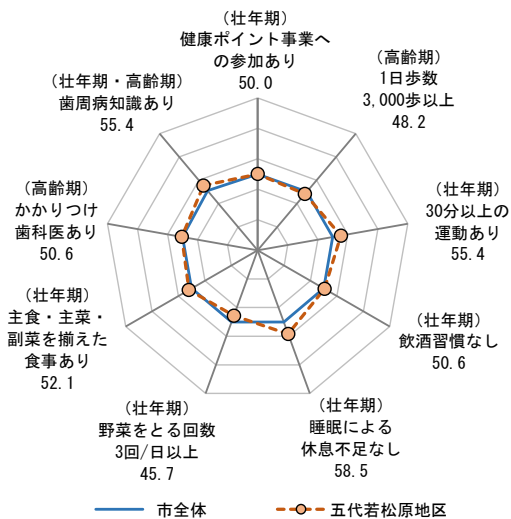
資料：令和元年健康意識アンケート調査 (高齢期)

② 認知症リスク等 (小さいほど良い)



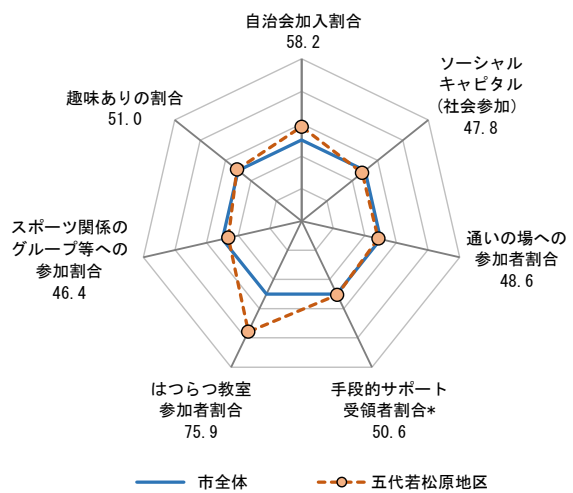
資料：令和元年健康意識アンケート調査 (高齢期)・宇都宮市高齢福祉課データ

③ 生活習慣 (大きいほど良い)



資料：令和元年健康意識アンケート調査

④ 社会参加・社会的ネットワーク (大きいほど良い)



資料：令和元年健康意識アンケート調査 (高齢期)

手段的サポート受領者割合*：看病や世話をしてくれる人がいる高齢者の割合

(4) 健康度の状況 (大きいほど良い)

P. 14 参照

① 介護健康度

12.21 点/20 点
[16 位/39 地区]



② 生活習慣健康度

15.09 点/25 点
[23 位/39 地区]

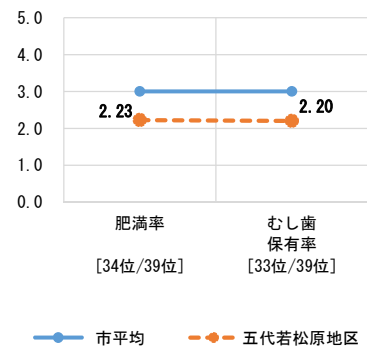
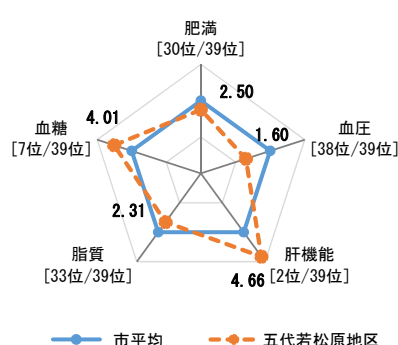
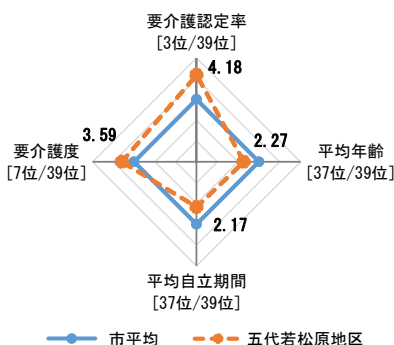


③ 子ども健康度

4.43 点/10 点
[36 位/39 地区]



[関連指標]



※各関連指標は全市を3点とした場合の値、市平均より健康度が高い：😊 低い：😞

(5) 地域診断

ア データからみる地域の状況

【地域資源・生活環境】

- ・ 高齢化率は、市全体に比べてやや低い。
- ・ 健康遊具設置公園数（人口1万人対）が、市で最も多い。また、地区内には複数のスポーツジム、隣接地区には県総合運動公園がある。
- ・ 五若の日記念事業や五代夏祭りのほか、徘徊模擬訓練、各種運動に関する大会など、地域活動が盛んな地域である。

【健診・医療・介護】

- ・ 特定健診等受診率は、市全体に比べて「前立腺がん」「大腸がん」「子宮がん」が高い。
- ・ 生活習慣病リスク保有率は、市全体に比べて「血圧」「脂質」「血圧・脂質」「血糖・血圧」が高く、「肝機能」は低い。
- ・ 行動特性は、市全体に比べて「朝食を抜くことが週3回以上」「就寝前の夕食ありが週3回以上」が高い。
- ・ 1人当たり年間医療費等は、市平均に比べて低く、医療費の内訳は、市全体に比べて「狭心症」「慢性腎不全」は3ポイント以上高く、「筋・骨格」も高い。
- ・ 要介護認定者の有病率は、市全体に比べて「骨粗しょう症」は5ポイント以上高く、「慢性腎不全」も高い。

【生活習慣・社会参加】

- ・ 要支援・要介護リスクは、市全体に比べて「虚弱リスク」「運動低下リスク」が低く、「低栄養リスク」が高い。
- ・ 認知症リスク等は、市全体に比べて「主観的健康観が低い高齢者の割合」がやや高く、「認知症Ⅱ以上の割合」「閉じこもりリスク」が低く、「情緒的サポートがない高齢者の割合」「うつリスク」「物忘れリスク」はやや低い。
- ・ 生活習慣は、市全体に比べて「睡眠による休息不足なし」「歯周病知識あり」「30分以上の運動あり」が高く、「野菜をとる回数3回/日以上」が低い。
- ・ 社会参加・社会的ネットワークは、市全体に比べて「はつらつ教室参加者割合」「自治会加入割合」が高い。

【健康度】

- ・ 介護健康度は、「要介護認定率」「要介護度」の点数が市平均に比べて高く、「平均年齢」「平均自立期間」は低い。
- ・ 生活習慣健康度は、「肝機能」「血糖」の点数が市平均に比べて高い。
- ・ 子ども健康度は、「肥満率」「むし歯保有率」の点数が市平均に比べて低い。

イ 地域の課題

- ・ 五代若松原地区においては、生活習慣病リスク保有率は、市全体に比べて「血圧」「脂質」「血圧・脂質」「血糖・血圧」は高く、医療費の内訳は、「慢性腎不全」が高い。行動特性は、市全体に比べて「朝食を抜くことが週3回以上」や「就寝前の夕食ありが週3回以上」は高く、「野菜をとる回数3回/日以上」が低いなど、食生活に関する課題があることから、食生活に関する正しい知識の普及啓発を行うなど生活改善の取組が必要である。また、歩いて行ける運動施設と生活習慣健康度、介護健康度は相関があり、生活習慣病予防のため、運動習慣が継続できるよう、健康づくり推進員とともに、栄養・運動に関する取組を強化していく必要がある。
- ・ 介護健康度は、介護認定率は低く、要支援・要介護リスクや生活習慣、社会参加・社会的ネットワークも市全体に比べて高い傾向にあり、元気な高齢者が多い。一方で、「平均年齢」「平均自立期間」の点数が低いことから、高齢者が要介護状態にならないよう、フレイル予防に努めるとともに身近な場所での社会参加を促すなど、介護予防の充実を図っていく必要がある。